



<本年度クラブ会長方針>

和をもって輪となり、話をもって和とする

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 照井 葉 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号 丸越ビル6F
幹事 林 順治 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

人類に奉仕するロータリー

<2016-17年度R.I.テーマ>
R.I.会長 ジョンF. ジャーム

第1618回例会

ロータリー親睦活動日誌

平成29年6月15日(木)

卓話

於 名古屋東急ホテル

出席計算数 49名中46出席

出席率 93・88%

前々回出席率 93・75%

例会プログラム

★吉田隆彦地区大会幹事

・地区大会報告

★柴岡次年度青少年奉仕委員長

・派遣青少年交換学生

★卓話 お迎え案内

ロータリーソング

「ROTARY-RY」

指揮者 前田 隆久

ピアノ伴奏 富根 玲子

ゲスト

俳優・ナレーター

江崎 明さん

ニコボックス

今年度最後の卓話者 江崎 明さん

素敵な声でのお話を楽しみにしています。

照井 葉・林 順治

川島 勇基・中原 康雄

照井会長、一年間御苦労さまでした。

小笠原和俊

今週末は合唱祭です。直前練習が

んばります。岡村 隆徳

地区大会迫ってきました。気合入

れましょう。PR訪問宜しく。

尾上 昇

卓話お願いします。春日井和良

江崎さん、おもしろい話お願いします。

高木 政義

本日娘のコンサートです。成功を

祈って。神野 邦利

豊橋コールテンRCCへ地区大会の

お願いに行っていました。

山口 正孝

照井会長、林幹事、一年間御苦労で

した。岩崎 征一

皆様、地区大会のためのクラブ訪

問、苦労さまです。横井 衛

会長挨拶

照井 葉

「二年間挨拶を考えながら・・・」

今年度のフィナーレがいよいよ

近づいて来ましたが、プレッシャ

ーから解放されるうれしさで例会

冒頭の会長あいさつを考える時間

から解放されるうれしさを感じて

います。

会長あいさつはできるだけ「日

本語や言葉にまつわる話」をテーマ

にしつとて思い、ネタを考えて

いました。

「苦労様ではなく、お疲れ様」

「ニッポンかニホンか」「ほほほほ

普通のじゃない話」「大丈夫ですって

本当に大丈夫?」「政治家の『を』

入れ言葉」などなど例会での会長

あいさつは約40回ありましたが、

三分の二は「言葉」を軸にしよう

とができました。

文化庁が平成7年度から毎年、

全国16歳以上の男女を対象に実

施する「国語に関する世論調査」

平成28年度の結果によると

◎毎日使っている日本語を大切に

しようかと、という問いに対して

78.5%の人が大切にしている。

大切にしたいと思っていないと答え

ています。15年前は99.1%で

した。

◎美しい日本語があると思うか?

という問いに対しては、あると思

うと答えた人は99.8%。過去の

調査と比べると「ある」と思うと

言っている人が増えています。

◎美しい日本語はどのようにな

葉だと思つか?という問いかけに

は、年代にかかわらず「思いやり

のある言葉」「挨拶の言葉」「季節

の移り変わりを表す言葉」がバ

ツトになりました。

したいと考えている若者が多いと

いう結果になっていました。

敬語・助詞の使い方・季節ごと

の言葉など、日本語は本

当に

で、使いこなすことはむずかしい

言語と言われている日本語ですが、

「大切にしたい」と考えている日

本人が増えていることは心強く感

じます。

会長あいさつの原稿を書きなが

ら、日本語の面白さや奥深さを改

めて感じたことも多くこれからの

仕事にも生かしていけそうです。

一年間、いい機会をいただきました。

◎卓話

俳優・ナレーター

江崎 明さん

「ナレーターとしての表現」

ナレーターとしての表現を文字

にするのは少々難解なお話になり

ますので、感情や情緒やアクセ

ント等は、私の話の中で理解してい

ただく事にして、なぜ現代の様な



言葉遣いになったかを説明いたします。(以下、江崎明のナレーション講座「リッスンテキストより」)

江戸時代が終わり明治時代を迎え、首都は東京、鎖国をやめて諸外国と交易をし、日本全国、円滑に物事が運営される事を目指し、人々や物資の流通も盛んになってきました。そして大正時代になってある課題が浮上りました。

江戸時代、尾張国・美濃国・三河国は隣国ですから著しい方言の差はありませんが、薩摩国等のように遠国ともなると方言がきつくてお互いの言葉の内容がよくわからないう…というのが日常の生活だったようです。

大正の末期に東京でNHKが開局を迎えるという時、「この地域の言葉で表現しようか」という事を、日本各地から当時の国語学者・言語学者が集まって話し合いが行われたそうです。その会議の様子をちよつと聞いてみましょう。

「やっぱり東京にしましょうー」「ちよつと待ってえなーなんでやねん…なんで大阪の言葉ではあきまんのや？」(確認はありませぬが大阪人ならさう言っただけです)「よく聞いて下さい。江戸時代、およそ70年の間、参勤交代があつて地方の言葉が江戸に集まり江戸言葉とまぜこぜになりながら構築されて江戸の言葉と

なり、そして明治時代を迎え、首都も東京となり45年を経て大正時代になって、さあいよいよラジオ局が開局をする。こうした歴史的な経緯を踏まえるなら、東京の言葉にするのが一番合理性があります。文章表現だって明治の半ばに東京を標準にしたではありませんか。今度はしゃべるのです。表現する、東京のアクセントで表現する。確かに東京言葉は上品な山の言葉と品格が劣っている下町言葉があります

が、なるべく品のない言葉は避けて山の言葉に近い形で表現しましょう。ねーさうしましょー！「さよかあーあんたはん、ようしやべるなあーそやなあーまあしやあないか…さうしまひよかー」てな具合にまとまつたそうです。めでたく東京のアクセントを標準とした表現で1925年大正14年に社東京放送局後のNHKであるコールサイン「J-OAK」の放送が始まりました。この時一般に言う所の標準語が認識されたわけです。ところが今は標準語とは言わず共通語と語っています。なぜでしょう…それは、東京を標準にするという言い方は、他の地方都市を侮蔑することにもなりかねないという事で、戦後国語審議会などが話し合い、日本全国共通の言葉「共通語」という表現をしています。で

すから現在テレビやラジオで表現されているアクセントは、「共通語アクセント」といいます。

という流れで放送局やマスコミが使っている現在の言葉があるわけですが、さてナレーターという職業はいつからなのでしょうか。おそらく戦後たくさんのアメリカドラマが日本に入ってきた時から始まった職業に思われます。なぜ「思われます」という表現になるかと言つと、ナレーターや声優の歴史を研究している人がいないからです。戦後日本に入ってきたテレビ映画といえは、名犬ラッシー、パパ大好き、ミラミール牧場、コンバット、ルート66、うちのママは世界一、スーパーマン、アニー、銃をとれ、ローレンジャーなど、数え上げると日が暮れてしまいきます。さうしたドラマの吹き替え、つまりアフレコを担当する職業などありませんでした。ほとんどの作品は劇場等で活動していた俳優が吹き替えを担当し、俳優やナレーターと呼ばれて活動する事になったようです。

私も若い頃、俳優を目指し、俳優修業をさせていたたいたおかげで今のナレーターという職業に変役立っております。現在のナレーターの仕事は、ドキュメンタリー、CM、バラエティー番組、ニュース番組等、幅広い表現を要求さ

れます。東京を中心に全国にたくさんのナレーターがいますが、それぞれの個性を生かして表現しています。

声だけの世界ですが、どうぞよろしくお願ひ致します。

その他・お知らせ

2017年ロータリー国際大会

6月14日(水)

コアラランタ

第4回本会議では、学友世界人道奉仕賞の授与が行われました。今年の受賞者は日本人の緒方真子さん。元国連難民高等弁務官である緒方さんは、外交官の家族に生まれ、1951年に日本で2人目のロータリー国際親善奨学生として米国ワシントンD.C.のジョージタウン大学大学院へ留学しました。残念ながらご本人は都合が合わずアトランタにお越しいただけませんが、ビデオメッセージを含む緒方さん紹介のビデオが上映されました。緒方さん、あらためて受賞おめでとうございます！

ロータリー財団100歳の誕生パーティーでは、ロータリー財団100歳をバースデーケーキとアイスクリー

ームで盛大に祝います。100年前、1917年のアトランタ大会で、当時のアーチ・クラフ会長が「世界でよいことをする」ための基金の設立を提案。最初に寄せられた26ドル50セントの寄付から世界有数の財団に成長したロータリー財団は、人ひとの生活に変化をもたらす数々の活動を支えるために、これまで30億ドル以上を提供してきました。財団生誕の地アトランタで行なわれる100周年の祝賀は、「世界でよいこと」をしてきた1世紀を誇りとともに振り返り、これからの1世紀の課題を語りあつた最高の機会です。

(国際大会
中継ブログより)



6月29日(木) 例会の案内

定款規定により休会

7月6日(木) 例会の案内

会長・幹事所見

会長 岡村 隆徳さん

幹事 春日井和良さん

広報委員会

吉田 隆彦・杉浦 令淑

近藤 明美・伊藤 正明

*本文は、原則 頂いた
原稿を転載しています。